

3 本時案④【まとめ場面】（7時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

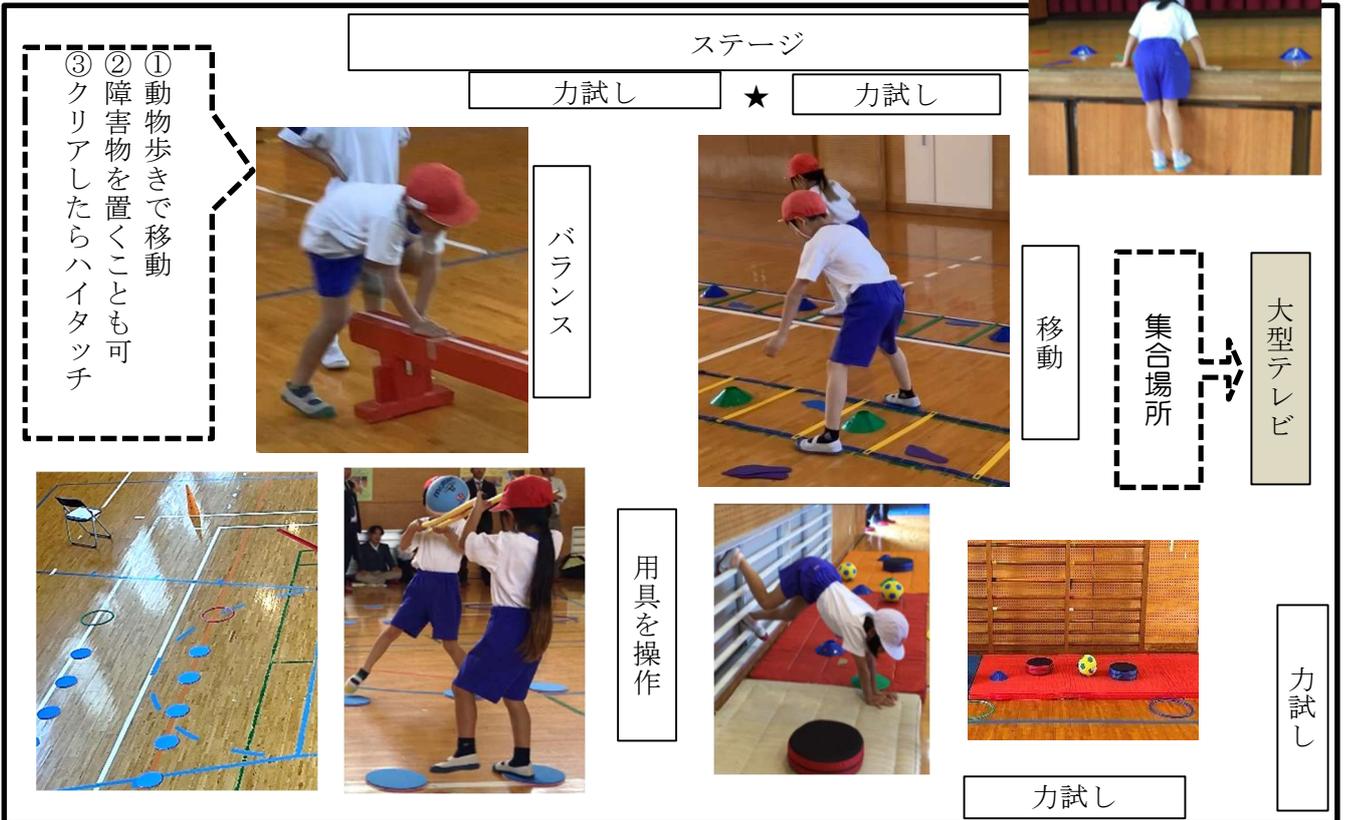
多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 5分	<p>1. 集合、挨拶、健康観察、準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな生き物や自然現象になりきって準備運動を取り組ませる。 <p>2. 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて これまでがんばった修行の成果を忍者（鶴岡半蔵）に見てもらおう</p> <p>評価 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの修行（運動遊び）の成果を地域の忍者（鶴岡半蔵）に見てもらうこと、クリアしたら忍者修行の認定書をもらえること等を知らせ、児童の意欲化を図る。 ※可能であれば忍者役は校長先生等をお願いする。 	
なか 3分 2分	<p>3. 主となる運動遊び</p> <p>○自分たちで工夫した全ての修行の場で友達と力を合わせて多様な運動遊びに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの修行（運動遊び）やそのクリアの方法を再度説明し、確認する。 活動時間を4つに分け、それぞれ5～6分間とする。8つのグループを2グループずつにわけ4つの修行（運動遊び）の場をローテーションさせる。※指導者が複数名の場合はT1が「ボールの森」「バランスの森」、T2が「力の森」「移動の森」というように分担、指導する。 修行の森の中には複数の修行（運動遊び）の場を設け、全ての修行（運動）に取り組ませる。修行（運動）の場の中で、一つの修行（運動）をクリアしたらスタンプを押し、次の修行（運動）を行うようにさせる。 4つの活動時間はそれぞれ決められた修行の森の中だけで活動させる。森の中の修行（運動）をすべてクリアしたら再度森の中で希望する修行（運動）に取り組ませる。 <p>○自分が苦手な修行、もっと取り組んでみたい修行を選んで取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたい修行（運動遊び）や苦手な修行（運動遊び）を選んでペアで取り組ませる。その際、グループにはこだわらなくてよいことにする。また、前時までに出された方法も想起させて記入し、位置付けておく。 さらに動きを高めよう（安定、大きく等）としたり、新しい動きを発見しようとしたりする等、進んで取り組もうとしている児童を称賛する。 	<p><u>おおむね満足</u> (観察・ワークシート)</p> <p>多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。</p> <p><u>十分満足</u></p> <p>さらに動きを高めようとしたり、新しい動きを発見しようとしたりしながら進んで取り組んでいる。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u></p> <p>進んで取り組むことができない理由を尋ね、可能な対応をする。</p>
まとめ 8分	<p>4. 本時、単元の振り返り</p> <p>○めあてや単元の振り返りを行い、次の単元への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの修行（運動遊び）の成果が出せたか出せたかを振り返らせる。 振り返りはタブレット端末にあるワークシートに入力、提出させる。 入力後、ペア等で交流させる。 地域の忍者（鶴岡半蔵）に頑張っていた姿を紹介してもらう。 さらに動きを高めようとしたり、新しい動きを発見しようとしたりして進んで取り組もうとしている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。 事後に認定書を一人ひとりの児童に渡すことを知らせる。 <p>5. 片付け、整理運動、健康観察、挨拶</p>	

<補足事項>

●場の図（まとめの時間の分）



●ワークシート（フォーム）の項目の例

(1) 進んでとりくむことができましたか
 よくできた（よりカッコよくクリアしようとした、新しい動きを見つけようとした）
 できた（これまでどおりがんばった）
 できなかった（〇〇でこまった、..）

(2) 忍者修行は楽しかったですか。
 とても楽しかった
 まあまあ楽しかった
 あまり楽しくなかった

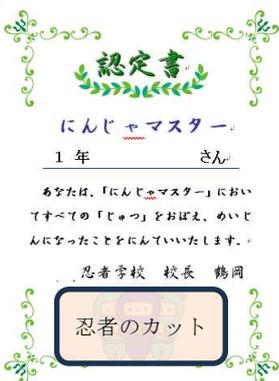
(3) これからも休み時間に修行したいと思いましたが
 とても思った
 まあまあ思った
 あまり思わなかった

(4) 忍者修行で楽しかったこと、思い出に残ったことを書きましょう。

(5) 忍者修行で困ったこと、悔しかったことを書きましょう。

●認定書の例

認定書の証、オリジナルの子どもたちの頑張りの証、オリジナル



- ・ 5～7時間目に取り組んだ用紙を教師が確認し、子どもたち一人ひとりに、忍者マスターになった証として、認定書を渡す。
- ・ 子どもたちがより達成感を感じることができるよう、忍者の衣装を着せたり、BGM を流したりするなどして、場を盛り上げる工夫をする。
- ・ 体育だけでなく、その他の学習や生活など頑張ることの大切さを子どもたちに伝える。